

## 「FOR THE SOPHISTICATED PEOPLE」

拝復

寒いですね。まあ、季節が季節どおりに来てくれることは基本的にありがたいことです。今日もテニスで汗を流し来てきましたが、動くと汗をかきますが、ゲームの合間は汗が冷えることもあって下手をすると風邪を引きそうになります。インフルエンザも全国的にいつもより早く流行っているようです、皆様に



おかれましたもお風邪など召さぬよう、お気をつけください。今年も早、あと半月。今年は最後の最後で「**大金融危機**」という歴史的に見ても稀な経済不況のど真ん中です。何とか来年は立ち直って欲しいと思いますが、なにせ規模がでかくて、復興までの時間は早くても5年、どうかすると10年くらいかかりそうです。

ご興味がある方はこちらのバックナンバーをご覧ください。→ <http://r-research.co.jp/>

さて、本日のテーマ。一番上のタイトルだけでわかった方、**あなたはちょっと変です(笑)**。わからなかった皆様、それが普通です^^;。実はこのタイトルはあるテレビ番組のサブタイトルです。そろそろわかってきたかな。そう、毎週金曜夜深夜（基本的に0:15分）に放映されている「タモリ倶楽部」です。



今日は思いっきり、脱力モードですから力を抜いてご覧ください^^; ;



タモリ

(敬称略) の番組はなぜか非常に長期のヒット番組になるケースが多い。ギネ

スを更新中の「笑っていいとも」、毎週月曜日から金曜日までの12:00~13:00まで放送されているバラエティー番組です。私のお昼タイムは12:00~12:15までNHKのニュースをチェックして後、ゲストトークから明日の「いいともつながり」ができるまでのあいだ、必ず見えています。コーナーの最後に「**100人の女性の中で一人だけ**」を当てるコーナーがあって、例えば「今朝カレーパンを食べてきた人」とゲストがコールして、実際に一人だけに該当すると番組特製「タモリのケータイストラップ」がプレゼントされるのですがそれだけですが、これで実際に1人だけに該当すると会場中が大騒ぎになるのですが、これがとてもいい^^;。なんだか、縁も所縁もない私までがとても幸せな気分になります。

で、話はその「笑っていいとも」ではなくて、同じタモリによる「タモリ倶楽部」について取り上げたいと思います。なにせ「FOR THE SOPHISTICATED PEOPLE」ですから（笑）。

オープニングは、口笛と共に実写や CG の女性のお尻だけが「ふりふり」しているシーンです。なんか誤解を受けそうな感じになりましたが特にいやらしいものではありません。で、必ずタモリ本人がたんと、「毎度おなじみ流浪の番組、タモリ倶楽部のお時間かやってきました」、とここでその日の「お題」とゲストが紹介されます。で、お題が大抵の場合、非常にマイナー（笑）。つい最近の放送では

08年12月5日（金）地デジに対応できなかった男達

08年11月28日（金）秋の巨大建造物クルージング：江東区 水門銀座を歩く

08年11月21日（金）麻布十番の中華料理店「萬力屋」で中国人シェフと中国将棋で勝負

08年11月14日（金）江川達也持ち込み企画：石神井川と石神井川の跡を歩く . . . . .

どこまでも延々と続きますが、どの回を見ても普通のテレビ番組が絶対に取り上げようとしないものばかり。例えば今年5月23日、30日に回にわたって放映されたに「プロ用電動工具を使って日曜大工をしよう」。その世界では有名な「マキタプロ用電動工具」コレクション「高圧エア釘打」AN510H 85000円



←番組に使用するテーブルを作りました

使用空気圧力 0.98~2.26Mpa

で、次々に紹介される工具を使ってゲストと一緒に何か（今回は番組用のテーブル）を作るのですが、一般常識としても、暮らしに役立つ知識でもなんでもない。つまり、「世の中の一見どうでもいいようなものを取り上げていい大人がそれを使って遊んでしまう」番組なのです。くだらないというなかれ。



また、番組の中で唯一のミニコーナー「空耳アワー」はもはや日本文化を代表するコンテンツだと私は思います。基本は視聴者からの投稿で構成されます。

<http://jp.youtube.com/watch?v=h4DJvphcoVo> え～全部で8分強あります、会社等でごらんになる際にはくれぐれも周囲にご注意ください。実際の番組では一回につき5分強、3本が放送されます。このYouTubeは傑作選です（が、かなり危ないコンテンツも含まれています。下ネタがお嫌いな方はごらんにならない方が^^;）私のお奨めは4分過ぎの「オッサン、オッサン」編です。下らないことは承知ですが、下らない事でも25年続けば文化です。今は芸術の一分野として考えられている「歌舞伎」ですが、江戸時代は庶民の大衆演劇でした。

で、「タモリ倶楽部」の何がすごいかというと、先週の放映で1265回目と言うことです。仮に一年を50週と勘定しても25年強。この移り変わりが激しいテレビ番組の中で超長寿命番組と言うことが出来ます。

1981年が初回、奇遇なことに「笑っていいとも」も同じ年にスタートしています。ウィキペディア先生にちょこっと教えてもらおうと、現在でも放映中のバラエティー部門では、

- 1、金曜夜席→[笑点](#)(日本テレビ) - 1965年3月～放送中／**43年10ヶ月**
- 2、夕刊タモリこちらデス→タモリ倶楽部→帰ってきたタモリ倶楽部→[タモリ倶楽部](#)(テレビ朝日) - 1981年10月～1982年3月、1982年10月～放送中／**累計26年9ヶ月**
- 3、[森田一義アワー 笑っていいとも!](#)(フジテレビ) - 1982年10月～放送中／**26年2ヶ月**
- 4、[笑っていいとも!増刊号](#)(フジテレビ) - 1982年10月～放送中／**26年2ヶ月**
- 5、[ゆうYOU サンデー!](#)→[アッコ・古館のアツ!言っちゃった](#)→[アッコにおまかせ!](#)(TBS) - 1984年4月～放送中／**24年9ヶ月**
- 6、[バラエティー生活笑百科](#)(NHK大阪放送局) - 1985年4月～放送中／**23年9ヶ月**
- 7、[日立 世界・ふしぎ発見!](#)(TBS) - 1986年4月～放送中／**22年9ヶ月**
- 8、[とんねるずのみなさんのおかげです](#)→[ラストとんねるず'94](#)→とんねるずのみなさんのおかげです→[とんねるずの本汁でしょう!!](#)→[とんねるずのみなさんのおかげでした](#)(フジテレビ) - 1988年10月～1990年3月、1990年10月～放送中／**累計20年**

「笑点」が第1位なのですね。しかし、第2位～4位までをタモリが独占。「笑点」が出演者のほとんどが代替わりしていることを考えると、実質トップ3を独占しています。




改めてタモリのプロフィールを見て見ましょう。本名は森田一義、1945年8月生まれ、既に63歳！福岡に生まれ、祖父母に育てられた。早稲田大学に進学するも、授業料を払い忘れ除籍。ちょっと想像しにくいのですが、生命保険の外交を3年。同僚であった現夫人と結婚。その後ボウリング場支配人を経て、赤塚不二夫にその才能を見出され上京。夫人ともども赤塚家に居候生活を続けた。1976年にメジャーデビュー。「オールナイト・ニッポン」「今夜は最高」を経て次第に知名度が高めていった。ただ、その芸風から深夜枠限定であり、「女性に嫌われる下ネタ番組」ばかり作っていた。転機は1981年、昼のバラエティー「いいとも」に抜擢される。タモリは「3ヶ月終わる」と考えていたようだが、現在もギネスの記録を更新中である。

当時タモリを起用した横沢プロデューサーは「まず番組は作る人が飽きる。次に出演者が飽きる。そして視聴者が飽きる。だからタモリには、仕事できているとは思わないで、遊びに来ていると思っていってくれと言っていた」と語っている。そしてタモリも「仕事は楽しいよ。楽しいから仕事なんて言ったら、ちゃんと働いている人に失礼だから仕事と思っていない」と語っている。

タモリは雑誌や新聞の位インタビューは滅多に受けない。過去に、週刊朝日の取材を受けたことがあり、「いいとも」の長寿の秘訣を聞かれた際に、「番組についての反省を一切しないこと」と答えている。そのため、

「いいとも」では反省会を行っていない。これは「タモリ倶楽部」も同様。」自然体なのである。とかくテレビと言うメディ

アの前に出るとつい笑いをとりにいく芸人が多い中では、稀な存在である。笑福亭鶴瓶は 、かつてタモリに「なんで人の笑いを邪魔するのか」と尋ねたことがある。それに対する答えが、

「お前やさんまは笑いを取りに行こうとする。それが当たり前になると帯番組はマンネリになる。だから一番山のところで叩く。そうすれば何かを考えるだろう。それがマンネリ解消になる」と答えた。鶴瓶はその予定調和を嫌う態度こそがタモリがトップに君臨する理由と見抜き、「テレビの師匠」として仰いでいると語った。(週刊文春 2007年8月30日号)

タモリ倶楽部に話を戻そう。とにかく、**力が抜けているのだ**。ご覧になったことがない方はぜひ一度、見てみる事をお勧めします。低予算という言い訳を使い、オール・ロケ。「いいとも」で若手芸人とからむタモリの姿はそこにはない。世の中のいろいろなことを試してみようと言う、オッサンがいるだけである。だから、飽きない。世の中のためになっているのかと言われれば、「**そんなことを一度たりとも考えたことがない**」と答えるだろう。

意味も脈略もない。世の中を変えようなんて言う意気込みもない。こうして暮らしてみたら少し気持ちが楽になるよ、**というメッセージを感じる**。世の中を遊ぼうよ。たまには脱力しておいしいワインでも飲みながら「空耳アワー」で爆笑しましょうよ^^;、ご同輩。意味のないことの中に見出す意味。笑いのない世界に笑いを探す意味。これこそがタモリが考える、「FOR THE SOPHISTICATED PEOPLE」なのではないかと考えています。

余談ですが、実は我々はタモリの真髓を見ていない。なぜならそれは**放送できない**から。赤塚不二男が見込んだのもその世の中の良識に対抗するタモリの一人芸がある。ぎりぎり放送できるのは、イグアナの真似。仲間内でやるときは全裸らしい(笑)。ピアニストの山下洋輔は今のタモリを称して「**スペシウム光線を禁じられたウルトラマン**」と称えている。とにかくすごくシュールなものらしい。やんごとなきお方の真似なども(笑)。

今年の NewsLetter はこれが最後です。「迷惑メール」にお付き合いいただき有難うございます。この暮れは「100年  
に一度」の未曾有の経済危機のうちにあります。でも、人間だから生活をする以上経済や社会がなくなるわけでは  
ない。気楽にいこうよと「タモリ」に言われそうです。もしかしたら、タモリは平成の「植木等」なのかもしれません。  
では、良いお年を、

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail : [ryubon@kkd.biglobe.ne.jp](mailto:ryubon@kkd.biglobe.ne.jp)

<http://r-research.co.jp/> ブログ、毎日更新しています→<http://rresearch.blog103.fc2.com/>